

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	連続立体交差事業による踏切事故・渋滞及び地域分断の解消（交通拠点連携集中支援）																					
計画の期間	平成30年度～令和04年度（5年間）											重点配分対象の該当		○								
交付対象	大阪府																					
計画の目標	鉄道を高架化して踏切を除却する抜本対策を実施することにより、都市交通の円滑化を図るとともに、周辺市街地の生活環境や都市機能の向上・活性化を図るものである。																					
全体事業費（百万円）		合計（A + B + C + D）		117,228		A	117,228		B	0		C	0		D	0		効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）		0		%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30当初	H32末	H34末
1	踏切における踏切渋滞の解消			
	踏切遮断時間の解消 1日あたりの踏切遮断時間の減少 1日あたり踏切遮断時間= 除却対象踏切の1日あたり遮断時間 [踏切交通実態総点検結果（H19.4公表）] × 【除却済 [0]、片側除却 [0.6]、未完了 [1]】	322H/日	322H/日	322H/日

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	街路	一般	大阪府	直接	大阪府	S街路	改築	近鉄奈良線連続立体交差 事業（若江岩田駅～東花 園駅付近）	連立 L=3.3km	東大阪市						61,440	1.3	-
		国債設定年度：平成30年度～平成31年度																	
	A01-002	街路	一般	大阪府	直接	大阪府	S街路	改築	南海本線・高師浜線連続 立体交差事業（羽衣駅～ 高石駅付近）	連立 L=4.1km	高石市						55,788	1.1	-
		国債設定年度：平成30年度～平成33年度																	
											小計						117,228		
												合計						117,228	

事後評価	
事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
大阪府道路室で評価を実施	令和2年4月
	公表の方法
	大阪府ホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	連続立体交差事業を実施中。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
引続き連続立体交差事業を着実に進めていく。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	322H/日	令和2年度より「ストック効果を重視したアクセス道路の整備による地域・拠点の連携強化」に移行
	最 終 実績値	322H/日	